

令和3年度 第3回習志野市一般廃棄物処理基本計画策定部会 会議録

1 開催日時 : 令和3年6月15日(火) 10時00分~12時30分

2 開催場所 : クリーンセンター 3F 大会議室

3 出席者

【部会長】東邦大学理学部生命圏環境科学科 講師 今野 大輝

【委員】市議会議員 央 重則

千葉工業大学先進工学部生命科学科 教授 五明 美智男

習志野商工会議所 女性会 会長 田村 裕子

公募委員 三浦 由久

【市職員】都市環境部参事 クリーンセンター所長 上野 久

都市環境部クリーン推進課 課長 須藤 恒男

都市環境部(クリーン推進課) 主幹 仲野 元

クリーン推進課 副主査 小田 和房

業務課 課長 仁王 俊明

業務課 係長 岡里 実

【事務局】環境政策課 課長 伊東 尚志

係長 篠宮 ちさ

主任主事 三橋 一輝

主事補 重黒木 優実

傍聴人 : 0人

4 議題

・会議録の作成等

・会議録署名委員の指名

・視聴

(1) 専用ネット袋での収集(試行)

・視察

(1) リサイクルプラザにおける分別処理

・審議

(1) 習志野市一般廃棄物処理基本計画(案)について

(2) 一般家庭ごみの処理について(ごみの分別について)

・その他

5 会議資料

※別添資料

- 資料 1 習志野市一般廃棄物処理基本計画策定部会スケジュール（ロードマップ）※再変更
- 資料 2 広域処理のメリット・デメリットについて
- 資料 3 一般家庭ごみの処理について（ごみの分別について）
- 資料 4 習志野市における廃棄物処理に関する研究例【千葉工業大学提供】
- 資料 5 「缶・ペットボトルの専用ネット袋収集」の試験的導入と今後の方針について
- 資料 6 「プラごみ削減新法成立」新聞報道

6 議題内容

開会

- 第 1 会議録署名委員の指名

- 第 2 視聴

- (1) 専用ネット袋での収集（試行）

- 第 3 視察

- (1) リサイクルプラザにおける分別処理

- 第 4 審議

- (1) 習志野市一般廃棄物処理基本計画（案）について

- (2) 一般家庭ごみの処理について（ごみの分別について）

- 第 5 その他

閉会

<会議概要>

- 第 4 審議 (1) 習志野市一般廃棄物処理基本計画（案）について

【広域処理のメリット・デメリットについて】

(今野部会長)

習志野市一般廃棄物処理基本計画について、事務局から説明を求めます。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ 本市は基本、清掃工場は自前で持ちたい。
- ・ 広域処理をした場合、収集時間や収集運搬費が現状の 1.5 倍ほどかかり、当然、二酸化炭素排出量も増える。
- ・ 施設の規模、収集業務、経費、環境負荷、災害時の対応すべて見極めると、八千代市より習志野市に清掃工場を造るのが合理的だと考える。

- ・ 習志野市と八千代市ともに人口が増加しており、場合によっては中間処理施設を設けなければならず、集約が集約にならない可能性がある。

【質疑応答】

(三浦委員)

- ・ 八千代市はどのような考え方なのか。
- ・ 船橋市は交通渋滞を回避するための策だと思うが、夜間の回収を行っている。多少距離が長くても大型車を使って収集するのは可能ではないか。
- ・ 習志野市で施設を造る場合、費用は恐らくどこかで折半することになるため、1.5倍ではない。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ 八千代市にも国や県からオファーはかかっているが、行政間で検討しようという段階にも至っていない。
- ・ 船橋市が夜間収集している一番の目的はカラス対策であり、住宅地は夜間収集を行っていない。飲食街のある駅前や商業地域で行われているが、本市は商業地域等が少ない。
- ・ 船橋市や八千代市に施設を造る場合、走行距離等が増して収集車を増やすなければ現状維持できず、単純計算したら1.5倍かかる。

(五明委員)

- ・ 習志野市の施設に関しては、定量的な根拠を示さなければ比較ができない。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ 今現在、習志野市と八千代市の清掃工場の仕様が違うため、定量的に出すのが難しい。

(五明委員)

- ・ 習志野市と八千代市のごみ処理量を合算した数値は提示できるのではないか。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ ごみの排出量はほぼ同じだが、燃えカスは炉が違うため習志野市の方が7分の1と少くなり、コークスの排出は習志野市の方が多い。
- ・ 一番違うのは収集体制である。

(五明委員)

- ・ 国が広域化をうたっている中で、例えば補助金の率が変わるとか、将来的に市としてデメリットの可能性はあるのか。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ 広域化しないことでの交付金に対しての問題はないと確認している。

(今野部会長)

- ・ 単独処理、広域処理の定量的な議論は、ある程度の前提条件を踏まえた上でもう少し数値を増やしていただきたいと思う。

【専用ネット袋収集施行について】

～ビデオ視聴～

(上野クリーンセンター所長)

- ・ 黄色ネットがペットボトル、緑色がびん・缶で試行している。
- ・ びんと缶は一緒にパッカー車で回収している。

(三浦委員)

- ・ うちの町会は、びんと缶を分けている。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ 本市が方針を示していないため、試行段階である。今回はそれにひとつの結論を出すため諮詢する。

～リサイクルプラザ視察～

【習志野市における廃棄物処理に関する研究例について】

(五明委員)

- ・ 指定袋の使用状況から習志野市では潜在的な有料化賛成の人は15%見込めるが、85%の人が指定外のごみ袋で捨てていることを考えると、早急な有料化の実施は難しく、啓発活動による住民のごみの意識改革が必要である。
- ・ 集積所の実態調査を行ったところ、敷地内集積所は管理人がいて作業効率が良いことに對し、路上集積所はごみが乱雑に置かれていることが目立つ。
- ・ 集積所をタイプ別でチェックしたところ、敷地内集積所ほど不適正な排出率が高く、そのうち7割が囲い有のタイプでありかなり管理されている状況であるため、逆に周囲の目線を気にせず収集日以外にごみを出す等、放置されやすい傾向が見られた。

●審議（2）一般家庭ごみの処理（ごみの分別について）

(今野部会長)

- ・ 一般家庭ごみの処理（ごみの分別について）について、事務局から説明を求めます。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ 習志野市は、結構細かくごみの分別をしているが、収集に約3億円かかっている。処理については手選別でしており約2.4億、分別だけでも5.4億かかっている。
- ・ 「プラスチック資源循環促進法」という新法が成立した。

- ・ 習志野市では、現在、エネルギー効率が良く、助燃剤的な意味合いもあってプラスチックを燃やしているが、一括収集に乗り出さない自治体に関しては、新たに清掃工場を造るときに交付金は出されないという問題が生じてくる。
- ・ できる限り分別し 3R を進めているが、今後の社会情勢と費用対効果をみないと、どこまで分別をやるべきなのか見えてこない。
- ・ 清掃工場の建て替えを鑑みると、3 年以内に結論を出さなければならぬ。
- ・ ネット袋の収集については、ペットボトルだけでも全市的に取り扱えればと思ってい る。びんと缶については、処理ラインと貯めておくプールが一緒であるため、やらな い。
- ・ 今はプラスチックを分別しても、それを処理する工場がないため、引き取れる工場に買 ってもらうことで処理することはできる。
- ・ 国の様々な動向があるため、分別に関しては検討させていただきたい。

【質疑応答】

(央委員)

- ・ 今、びんと缶とペットボトルをネットで回収しているところはどのくらいあるのか。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ 236 カ所ある。

(央委員)

- ・ びんと缶を分けているところは何カ所あるのか。また、ビニール袋は何カ所の町会が取 りに来ているのか。

(クリーンセンター業務課長)

- ・ びんと缶は、パッカー車で一括して収集しているため、集計は取っていない。

(央委員)

- ・ パッカー車にびんを直接入れると、破片が飛んできて危ない。平ボディの車を使えば良 いのではないか。
- ・ できれば、びんも缶も分別すべきだ。
- ・ 集積所の美化問題も含めて話を進めていきたい。

(三浦委員)

- ・ 津田沼 1 丁目では、缶はネットに、びんはビニール袋に入れて出している。
- ・ ネット袋を全市で活用するのは非常に良いと思う。

(今野部会長)

- ・ 今後、10 年で清掃工場を建て替える中で、さらなる分別の取組について検討してはどう か。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ 国の動向が3年で変わることは間違いない。検討は続けていかなければならない。
- ・ 現状でできることは、ペットボトルの収集である。

(三浦委員)

- ・ びんはリサイクルされていないのか。
- ・ 処理は工場でやっていないのか。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ 清掃工場ではなく、リサイクル工場でリサイクルされている。

(五明委員)

- ・ 工場別のプロセスを考えると、十分検討し切っていると理解してよいのか。まだ少し検討の余地はあるのか。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ 現状は無理である。

(五明委員)

- ・ アイデアとして、ペットボトル回収を徹底して3700カ所できたときに、びん・缶の2ラインにするという発想はあるか。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ ある。

(央委員)

- ・ 今ネット袋で回収している約250カ所の現状や状態を調べた方が良いのではないか。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ おそらくきれいだと思うが、約3000カ所に広げた時にどうなるかはやらないとわからない。

(央委員)

- ・ ならしのをきれいにする会などで啓発すれば良いと思う。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ この部会とならしのをきれいにする会との間では情報共有し、そこで共有されたものが町内会におりていくというスキームが既にとれている。

(三浦委員)

- ・ 将来的にびんと缶は分けた方が良い。ここで統一するのではなく、市民は将来のことを踏まえて、練習としてびんと缶は分別するという表現に変えたらどうか。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ びんと缶それぞれ専用のビニール袋に入れれば、びんが割れても大丈夫ということをここに入れるイメージか。将来的に分けるということか。

(三浦委員)

- ・ ラインができた時に。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ 缶に関しては、もう一度、収集を委託している習志野市資源回収協同組合に確認をとつて提案させていただく。
- ・ 広域化に関しては、八千代市との比較をもう一度提案させていただく。

(央委員)

- ・ 収集の話になるが、経済効率を考えてごみを少なくするために、週2回を提案したい。

(上野クリーンセンター所長)

- ・ 収集回数は各自治体の自由であり、一概に経費の削減だけでは決められない。

(今野部会長)

- ・ 現時点では2ラインのため、一緒になってしまふことはきちんと周知いただきたい。しかし、将来的なことを考えて分別するスパンだと考えている。

●第3 その他

(事務局)

次回の第4回習志野市一般廃棄物処理基本計画策定部会

8月26日（木）10：00～ クリーンセンター3F 大会議室

